

NDCJ 記者会見

日時：2016年9月26日（月）16:00～17:30

会場：オフィス東京



NDCJ 会長、天野博文氏より、今後の NDCJ の方針、活動につき下記の内容について説明がなされました。

- ① 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟（JBDF）のWDCおよびNDCJへの加盟
に関して

- ② チームジャパン設立に関して
- ③ 全日本ダンス協議会設立に関して
- ④ 風営法適応除外後の対応について
- ⑤ コンプライアンス（倫理委員会）に関して
- ⑥ ジャパンアマチュアリーグ

1. 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟（JBDF）のWDCおよびNDCJへの加盟に関して：

公益財団法人日本ボールルームダンス連盟（以下 JBDF）は公益財団法人日本ボールルームダンス連盟国際委員会（以下 JBDFI）として、日本ボールルームダンス議会（以下 JBDC）と同等な権利を持つ団体（JBDFI/JBDC）として、NDCJ に入会しました。入会条件は JBDF と公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（以下 JDSF）との間にかわされた契約を破棄することでした。これにより NDCJ 構成団体は、（JBDFI/JBDC）、NPO 法人日本プロフェッショナルダンス競技連盟（以下 JCF）、公益社団法人日本ダンス議会（以下 JDC）の 3 団体となりました。1 年以内に JBDF 本体の NDCJ 入会が、WDC 会長ドニー・バーンズ氏を交えた、先の会議で決定しています。

2. チームジャパン設立に関して：

昨今の日本競技ダンスの弱体化を懸念し、日本ダンス界をあげて、日本人選手を技術的、外交的にサポートできる世界のトップコーチャー、オーガナイザーを含めた日本のトップコーチャー達でチームジャパンを構成し、世界のファイナリストとして活躍できる若手の将来有望な日本人選手を育成する事が決まりました。

3. 全日本ダンス協議会設立に関して：

NDCJ の組織の外に、「全日本ダンス協議会」を設立してダンス競技会主催団体のみならず、ダンス教師協会、ダンス教室協同組合、アマチュアの団体、サークル団体等、ダンス関係の団体を包括的まとめ、開かれた話し合い、情報の共有、ダンスの普及、発展のために活動できる組織とすることが決まりました。

4. 風営法適応除外後の対応について：

2016 年 6 月 23 日、改正された風俗営業法が施行されました。この改正により飲食を伴わないダンス教室は風営法の規制から除外されました。ダンス界にとって非常に喜ばしいことです。今後はダンス業界全体の自主規制を伴った自浄努力が求められます。NDCJ はもとより、先程の「全日本ダンス協議会」のもとに、ダンス界全体として取り組んでまいります。

5. コンプライアンス（倫理委員会）に関して：

NDCJ では倫理委員会を設立して、コンプライアンス規定を厳守し、風営法撤廃後のダンス界の中で自浄努力を行なってまいります。

6. ジャパンアマチュアリーグ：

WDC の中のアマチュア団体としてアマチュア選手の拡大、強化を中心に活動しています。